

報道機関各社 様

SIAF2024参加アーティストに10カ国以上、約50組が決定！ 未来を体験・体感できるプロジェクトを企業と協働

2020年の中止を経て6年半振り、初の冬開催となる札幌国際芸術祭2024(略称:^{サイアフ}SIAF2024)を、2024年1月20日(土)から2月25日(日)まで37日間にわたり開催します。

SIAF2024ディレクターの小川秀明(アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ共同代表/アーティスト)が掲げたテーマは「LAST SNOW」。

札幌市内6会場を中心に、10カ国以上、約50組のアーティストの作品を展示するほか、北国の冬ならではの屋外イベントや、市民参加型プロジェクト、企業や団体とのコラボレーションを展開。

多彩なアートやイベントを通して、「未来」に向けた人々の創造性を育み高めていくきっかけを生み出していきます。

5つのTOPICS

- ① 10カ国以上、約50組のアーティストが参加
日本初公開の新作も展示
- ② イニシアティブ・パートナーに「ソニーグループ株式会社」の参画が決定し、全6社に。
各会場で未来を体験・体感できるプロジェクトを協働で作り上げる。
- ③ 市民と一緒に盛り上げる公募・連携プロジェクト“みんなでウパシテ”
公募では13の企画を採択
その他、約10の文化イベントと連携
- ④ 10月6日よりチケット発売
SIAF初のデジタルチケットを採用
- ⑤ SIAF2024の見どころが分かる「ウィークテーマ」に合わせて冬の札幌に出かけよう！



①10カ国以上、約50組のアーティストが参加（組数は10月6日現在）

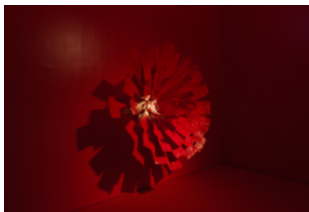
未来劇場（東1丁目劇場施設）には16組が参加。100年後を見つめるための表現が集まります。日本初公開の新作も多く展示します。

韓国の現代アートシーンを牽引するチェ・ウラムは、機械仕掛けでありながら、まるで生物のような動きを見せる作品を中心に、新作を含む複数作品を展示。

ドイツのジョヴァンニ・ベッティ+カタリーナ・フレックによる大規模なインスタレーション（空間展示）は、来場者に氷河が失われる事態の深刻さを体験させるとともに、地球温暖化を食い止めようとする極端な試みを通して今を考えさせます。

100年後の衣食住、AI、コミュニティなど部屋ごとにテーマを設定するオムニバス展示では、先進的なテクノロジーと多様な素材を駆使し、宇宙や科学、時間、個人のあり方などをテーマに作品を発表するシン・リウを含め、国際的なアーティストの作品を紹介します。

ほかにも、アートユニットのフジ森が札幌の小中学校10校でワークショップを行い、計700人以上の子どもたちがプログラミングで制作した「自分だけの雪の結晶」を展示します。



チェ・ウラム
《Red》
Photo by Jihyun JUNG



ジョヴァンニ・ベッティ+カタリーナ・フレック
《Invisible Mountain》
2021



シン・リウ
《The Mothership》
2023



フジ森「自分だけの雪の結晶をつくらう」

北海道立近代美術館では、1924年から2024年までの100年を再考する展示を行います。

北海道立近代美術館では、厳しい国際関係に翻弄される北洋漁業の現場を追った平野禎邦（1944～1992）の写真に始まり、関東大震災の被災者生活支援活動の拠点として、建築家の今 和次郎（1888～1973）が設計した東京帝国大学セツルメントハウスの写真なども紹介。

1924年に描かれた俣野第四郎（1902～1927）の作品や、平面と奥行、知覚の多様性を研究したジョーゼフ・アルバース（1888～1976）の版画など、同館コレクションも多数展示します。

現代のアーティストからは、アメリカ戦後絵画に始まるステイニング（にじみ）と日本の伝統的な糸目友禅を技法とする絵画表現を展開する、石井 享の作品などをご覧ください。



平野禎邦
《タラ延縄船、北千島》
1973



俣野第四郎
《大連市郊外》
1924 北海道立近代美術館蔵



国松 登
《星月夜》
1991 北海道立近代美術館蔵



石井 享
《東京景_074426892_センター街》
2022



宮田彩加
《MRI SM20110908》
2016- Photo by TAKASHIMA Kiyotoshi

モエレ沼公園では、「未来の札幌の運動会」を開催するほか、雪倉庫という特殊な空間を使い、フィンランド出身のユッシ・アンジェスレヴァとスイスのアーティストユニットAATBが、ロボットアームと氷、光を使ったここでしか体験できない展示を行います。

②イニシアティブ・パートナーに 「ソニーグループ株式会社」の参画が決定し、全6社に。 各会場で未来を体験・体感できるプロジェクトを協働で作りに上げる。

SIAF2024の特徴のひとつと言える「イニシアティブ・パートナー」は、従来のスポンサーとしての関わりのみならず、SIAFが目指す方向性に共鳴いただき、ともに社会課題解決を目指すため、企画や準備の段階からさまざまな形で協働する企業です。

これまで、株式会社良品計画、株式会社ワコム、大日本印刷株式会社(DNP)、パノラマティクス、『WIRED』日本版の参画を発表していますが、新たに「ソニーグループ株式会社」の参画が決定し、全6社となりました。各社とは、会場やプロジェクトと紐付き、自社の技術やノウハウを活用した、未来のテクノロジーや環境問題などを体験・想起できるアート作品やプロジェクトを共に作り上げていきます。

■ 株式会社良品計画(会場:さっぽろ雪まつり大通2丁目会場)

札幌市内の「無印良品」店舗では、会期前からSIAF2024のトークイベントやワークショップなどの連動企画を開催しています。さっぽろ雪まつり大通2丁目会場では、パノラマティクスと共に移動や暮らしなどの未来を構想する「未来の雪のまち」を出現させます。

■ 株式会社ワコム(会場:未来劇場)

SIAF2024に向けて、未来志向のイノベーションをめざすクリエイティブ教育ワークショップを実施。未来劇場ではワコムのペンタブレット等を活用した体験型プログラムを展開します。さらには、さまざまな問いを探求する文化創造イベントを開催予定です。

(10月6日/別途同社からリリースあり)

■ ソニーグループ株式会社(会場:札幌文化芸術交流センター SCARTS) **NEW**

詳細は後日発表予定です。

■ 大日本印刷株式会社

SIAF2024の会場におけるシームレスな入場体験を実現するデジタルチケットのシステムを構築。また、各会場への誘導サインを環境に配慮したサステナブルな資材で制作するなど、サーキュラーエコノミーを実現します。

(10月6日/別途同社からリリースあり)

■ パノラマティクス(会場:さっぽろ雪まつり大通2丁目会場、札幌文化芸術交流センター SCARTS)

さっぽろ雪まつり大通2丁目会場で、株式会社良品計画とともに「未来の雪のまち」を出現させ、アートを介して未来を構想する社会実験を行います。札幌文化芸術交流センター SCARTSでは、SIAFラボとともにあるリサーチを元にしたコンテンツを展開します。

■ 『WIRED』日本版(会場:札幌文化芸術交流センター SCARTS)

“未来”を実装するメディア『WIRED』の日本版編集部が、SIAF2024のあらゆる情報が集まるビジターセンター SCARTSにポップアップで出現。「SIAF AS A TOOL」という切り口で、トークセッションやポッドキャストなどさまざまなコンテンツをリアルタイムで編集していきます。

(五十音順) *各企画の詳細については、各社と連携し追ってリリースします。

③市民と一緒に盛り上げる公募・連携プロジェクト“みんなでウパシテ”

公募では13の企画を採択 その他、約10の文化イベントと連携

市民がSIAF2024を盛り上げる「公募プロジェクト」では、「未来」をキーワードに開催される、さまざまなジャンルのイベントを広く募集しました(募集期間:7/18-8/18)。

SIAF2024ディレクターが選考し、雪や氷を使った体験型イベントや写真展、AIを使ったコンサート、舞台公演、ミニスキージャンプ大会など、応募された企画の中から13件の企画を採択しました。

地域の一体感や賑わいを創出する「連携プロジェクト」では、北海道立近代美術館で同時開催となる「[特別展] AINU ART—モレウのうた」や、本郷新記念札幌彫刻美術館 前庭の「さっぽろ雪像彫刻展15th」のほか、北海道大学や商業施設で開催される約10件の文化イベントと連携する予定です。

公募・連携プロジェクト一覧▶
<https://2024.siaf.jp/upaste/>



④ 10月6日よりチケット発売

SIAF初のデジタルチケットを採用

これまで、SIAFでは紙チケットのみの取扱いでしたが、SIAF2024ではイニシアティブ・パートナーである大日本印刷株式会社との協働によりデジタルチケットを導入します。

有料となる3会場(未来劇場[東1丁目劇場施設]、北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館)に何度でも入場できるパスポートを設定し、個別鑑賞券よりもお得に楽しめる金額設定としました(中学生以下は無料)。さらに、お得な市民・道民割を設定し、冬のおでかけを気軽に楽しめるような仕掛けも取り入れていきます。

SIAFへの来場はもとより、SIAFをきっかけに「冬の札幌」の体験を促進します。

チケットは10月6日から公式サイトほかで販売中▶
<https://2024.siaf.jp/ticket/>



おすすめ!

	パスポート(前売)	パスポート	個別鑑賞券
販売期間	10/6(金)~2024 1/19(金)	1/20(土)~2/25(日)	10/6(金)~2024 3/3(日)
一般	¥2,500	¥2,700	¥1,500
市民・道民	¥1,800	¥2,000	
学生	¥1,000	¥1,200	¥800
中学生以下	無料		

⑤SIAF2024の見どころが分かる「ウィークテーマ」に合わせて冬の札幌に出かけよう！

冬のおでかけのきっかけになるような「ウィークテーマ」を設け、会期を異なるテイストで彩るイベントの組み立てをしていきます。市民のみなさんには何度SIAFに来ても楽しんでいただけるように、また観光客のみなさんにはSIAFを訪れるタイミングを決める目安として活用していただけることを想定しています。

Week 0: プレオープニングウィークス 先取り体験！メディアアーツの森

札幌芸術の森美術館が12/16(土)に先行オープン！冬休みはゲイモリでメディアアーツを体験しよう。

Week 1: オープニングウィーク 冬のSIAFと出会う

グランドオープンの週末は「出会い」の2日間。

アーティスト本人や、これまでのSIAFにも改めて出会えるようなプログラムも。

Week 2: イージーアクセスウィーク こどももだれでも

子どもから大人まで、だれでも参加できるような、SIAFへの気軽な入口となるようなプログラムを準備。

Week 3 & 4: 雪まつりウィークス 雪のまちのイノベーション

さっぽろ雪まつり大通2丁目会場がいよいよオープン！新しいアイデアやイノベーションが詰まった8日間限定のこの会場を、思い切り楽しもう。



Week 5: エデュケーションウィーク クリエイティブになろう！

イニシアティブパートナーと連携しながら、クリエイティビティを刺激するようなプログラムをお届け。

Week 6: クロージングウィーク 未来を描く

芸術祭もとうとう閉幕。SIAF2024を振り返りながら、ここから描く未来を見つめます。

その他、未来劇場を中心として来場者の案内役を担う「ふむふむサポーター」を募集しており、週末には一人ひとりの個性を生かしたサポートやガイドを提供し、より豊かで充実したSIAF2024の体験を促していきます。

本日公開するSIAF2024テーマソング「Dancer in the Snow」は、札幌を拠点とする二人組ニューウェーブ・テクノポップバンド「LAUSBUB(ラウスバブ)」がSIAF2024をイメージして制作しました。

テーマソングを使用したSIAF2024プロモーション映像▶



お問い合わせ

札幌国際芸術祭実行委員会 担当: 小林・佐藤
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階
電話: 011-211-2314(平日8:45~17:15) Fax: 011-218-5154 E-mail: press@siaf.jp